

おわりに

私たちは、千代田区の持つすばらしい景観や歴史的遺産などに着目し、休日の都心サイクリングコースづくりとサイクリングを楽しむための留意点を整理し、サイクリング環境づくりの提案をまとめました。休日の都心を、自転車で安心してのびのびと観光する人たちが増えれば、とてもうれしいと思っています。しかし、それは私たちの目指す姿のほんの第一歩に過ぎません。

自転車は環境にやさしく健康的なすばらしい乗り物です。ところが、これまで自動車のスピードや効率が優先され、自転車は交通機関として冷遇され、道路の隅においやられてきました。車道にも歩道にも、自転車がまともに走る空間はありません。私たちは、自転車利用のライフスタイルを呼び戻すことが、今後の日本社会を豊かにすると確信しています。この「休日」の「観光サイクリング」をきっかけとして、今後、平日も、通勤する人も買い物する人も、遊び回る子どもたちも、安心して快適に過ごせるように、人と自転車にやさしい環境づくりが行われていくことを願っています。

下の写真は、東京駅丸の内正面とオランダのアムステルダム中央駅正面の風景を並べたものです。どちらの駅も、一国の玄関口としての雰囲気を持つ美しい歴史的建築物ですが、その周辺の風景はだいぶ違って見えます。東京駅前には、広大な道路に人影は全く見あたらず、車だけが行き交います。一方のアムステルダム中央駅前には、人のスケールでデザインされた街並みが連なり、自転車や歩行者で賑わっています。さて、私たちはどういう街の姿を望んでいるのでしょうか。車が優先され、広大で無機質な街は、果たして魅力的といえるのでしょうか。

人と自転車にやさしい環境づくりは、自転車に乗る私たち自身の行動と、自転車を受け入れてくれる地域のまちづくりがあって、初めて実現に向かっていきます。「東京を自転車で走る会」では、今後の都市デザインの主役は「車」から「人」に転換すべきであり、今が転換の絶好のチャンスである、と考えながら、自転車を活用したまちづくり活動を続け、発信していきたいと考えています。

2006年3月 東京を自転車で走る会



東京駅丸の内正面



正面がアムステルダム中央駅

活動メンバーより

週末の千代田区を自転車で楽しむ

千代田区の週末は静かで、自転車でゆっくりとまちを楽しむことができます。ヨーロッパのまちと比較しても遜色がない美しい環境があります。もう少し、まちの中におしゃれな駐輪施設や自転車の案内表示があればもっと多くの人に楽しんでもらえると思います。これからも千代田区を自転車で走りながら、私たちの提案の実現を目指していきます。

東京を自転車で走る会 会長 湯本 登

3年間のまちづくりサポート事業に参加して

3年前に偶然のきっかけで千代田まちづくりサポート事業に参加。自転車に乗る立場から、週末の千代田区を自転車で楽しむために何が必要かを皆で考えるとともに実地に調査してきました。千代田区は他地域に比べて道路は広く、歩道も整備されていますが、自転車に乗る立場からみると、車道を快適に走ることや歩道の走行、駐輪場・施設の整備に関しては問題が多く、改善が必要です。今回で3年間の事業は「卒業」ですが、米国では卒業を「commencement」と言います。「commence」とは物事を始める、という意味だそうです。その意味で、3年間の実績を踏まえて、歩行者、自転車、自動車のよりよい関係作りをめざして新たな活動に取り組んでいきたいものです。

千代田まちづくりサポート活動・プロジェクトリーダー 岡崎 昌史

不思議がいっぱいの自転車環境

千代田まちづくりサポートを受けた3年間は、自転車環境を見直すいい機会でした。それにしても、自転車って不思議ですね。小さな子どもから爺さん婆さんまで、免許がなくても誰でも乗れます。放置自転車が問題だといいいながら、駐輪場はまったく足りません。100万円以上もする自転車もあれば1万円以下のものもあり、その差は100倍以上です。歩道も車道も走ることができます。でも、端っこを走らなければなりません。自転車をとりまく環境には？印がいっぱいです。そんなことを、走りながら考えていきたいと思います。

東京を自転車で走る会 事務局 橋本 正法

楽しい！がいちばん

まちづくりにおけるよそ者の役割ってなんだろうって考えています。その町に住んでいるわけではないけれど、その町が好きで、その町で暮らす人が好きで、ずっと関わっていきたい・・・そんなふうにする人が集まれば、町はもっとすてきになると思います。今回、千代田区を楽しむよそ者としてこの活動に参加しました。東京のど真ん中を自転車で走るなんて、数年前の私にはまったく思いつかないことで、そしてとても楽しいことでした。もっと多くの方が千代田区で楽しい時間を過ごせるように、住む人と訪れる人が力を合わせていけたらすてきだと思います。

江戸ポタリング初代プロジェクトリーダー 小野 訓子

活動をきっかけに得られた自転車の新しい視点.....

ぼくはサイクリングクラブの仲間などと一緒に走る事が多かったのですが、「東京を自転車で走る会」はスポーツ車の愛好家などとはまた異なる視点から自転車での活動をしていて、その活動は都市観光やまちづくりへの提案などにも及んでいました。その活動への参加が、それまでの自分とは違った視点から自転車との関わりを考えさせられるきっかけとなり、とても刺激的でした。

サイクリング技術担当 おの ひろき

歴史のまちポタリング.....

私は、古い歴史のまちがすきです。その中でも、神田はビジネス、学校、古本の町ですが、その中に古民家や江戸、明治、大正、昭和が残っているのです。江戸の町並みを思わせる店や、江戸の感じを残す蕎麦屋、甘味屋、あんこうなべ屋、八百屋、自転車屋のビル、ステンドグラスの教会などを見てまわると、歴史の中を自転車で走り回っている感じがします。谷中・根津もそうで、長屋や店をつくった大工サンの粋を見るのが楽しいです。みなさんも一緒に自転車で走りませんか。

サイクリングコースづくり担当 廣川 和徳

助成活動を終えて.....

自転車でまちづくり？ ある意味で実験的な取り組みであったこの助成活動は、私にとっても街を知り、人を知り、自転車の可能性を知った3年でした。それは発見の連続でもありました。我々なりに一応の成果を出せたと思っておりますが、この成果をさらに広げていくことが助成を受けたことの意義にも繋がるものだと思います。

サイクリングコースづくり担当 田中 恒明

もっと自転車を！.....

千代田区の3年間は、あっという間でした。なにより、自転車の好きな人がたくさんいることがわかったのが、うれしかったです。これからも、みんなが自転車を楽しく利用できるような社会になるといいですね。東京を自転車で走る会でも、月1回は走りたいですね。

サイクリングコースづくり担当 二井 康雄

自転車ファンを増やしてまちを楽しく変えていこう.....

千代田まちづくりサポートの3年間は、日頃から「おかしいなあ」「こうだといいなあ」と感じていた自転車環境のあり方を仲間とともに形にまとめることができ、私にとって大きな意義がありました。自転車環境を変えていく原動力は、自転車に乗る私たち自身だということに再認識した活動でもありました。楽しくきちんと自転車に乗る人、それを快く迎えてくれる人。そんな自転車ファンをどんどん増やしてまちを変えていきましょう。

環境づくり担当 / 編集責任者 塩路 安紀子

東京を自転車で走る会（千代田まちづくりサポート部会）

（ ）は主に担当した活動内容

湯本 登（会長）

有馬 政子（地元応援団長）

飯田 裕

飯塚 唱太

井上 淳仁

井上 ヒロユキ

岩村 恵子

大山 里美

岡崎 昌史（プロジェクトリーダー）

小野 訓子（江戸ポタリング担当）

おの ひろき（サイクリング技術担当）

黒川 裕貴（江戸ポタリング担当）

塩路 安紀子（環境づくり担当／編集責任者）

高橋 泉

田中 恒明（サイクリングコースづくり担当）

塚田 淳

中瀬 勝義

橋本 正法（事務局）

浜田 靖彦

廣川 和徳（サイクリングコースづくり担当）

二井 康雄（サイクリングコースづくり担当）

堀内 正弘（江戸ポタマップ制作担当）

和田 美香（江戸ポタマップ制作担当）

協力者

枝川 公一

大塚 克俊

折原 琢夫（グリーンチャリ東京）

加藤 直之

加藤 みゆき

古倉 宗治

斉藤 正俊

鈴木 政博

鳴沢 国久

疋田 智

前嶋 聡志

横田 義一

渡辺 真起

江戸ポタリング参加者

安達 美由紀・新居 陽子・石山 雅史・稲毛 久美子・稲毛 稔岳・今井 晶規・岩崎 隆・岩橋 駒子・
岩橋 多嘉子・江川 邑江・大谷 江里・岡村 七月・尾崎 せつ・甲斐 直美・加藤 諒・カトリ ラジ・
河村 和義・木内 佳央子・北岡 紀子・國松 ひさ子・コジマ アキコ・コジマ イクコ・佐藤 亜紀・
サトウ マナブ・篠原 枝美・鈴木 典子・鈴木 實・須田 敦子・滝口 健史・田崎 康夫・多田 勉・棚橋 健・
田村 亜矢子・千原 優子・長岡 素彦・中澤 美鈴・中島 愛佳・中山 洋子・二和田 秀子・林 千晴・
原田 真帆・平山 善子・福田 弥・布施 昭一・保柳 綱子・松田 泰武・松本 淳・宮下 正義・宮野 和弘・
牟田 英昭・森本 麻美・森本 陽子・山崎 泰廣・山田 謙一・吉川 みさ子

（敬称略・五十音順）

休日の都心サイクリングを楽しむために・自転車をとりまく環境を考える・

2006年3月 東京を自転車で走る会

編集責任者／塩路 安紀子

事務局／橋本 正法

TEL.03-3581-2700（地域交流センター） FAX.03-3593-1374 hashimoto@jrec.co.jp

*無断転載はご遠慮ください。

この冊子は、2003・2004・2005 千代田まちづくりサポート（財団法人 まちみらい千代田）の活動助成を受けて作成したものです。